令和６年度　地方応援隊活動報告書

～霞が関の若手職員による市町村の課題解決支援～

国土交通省　　農林水産省

○ **地方応援隊**では、**条件不利地域の小規模市町村**に**「隊員」として１自治体２名程度の若手職員**を割り当て、年に１、2回の現地訪問や月１回程度のWeb会議等を通じて、**地域課題を整理**し、その**解決策などを提案**しています。

○ 現在、**国土交通省33名**、**農林水産省28名**の計61名が、**全国26市町村**を対象に活動しています。（Ｒ６年度初時点）

○ 本報告書は、隊員が活動を通じて感じた**担当自治体の魅力ポイント**についてお伝えするとともに、その**地域が抱える課題**、隊員の**活動内容、取組の成果**及び**今後の展望**などについて報告するものです。

地方応援隊活動対象市町村

令和４－６年度

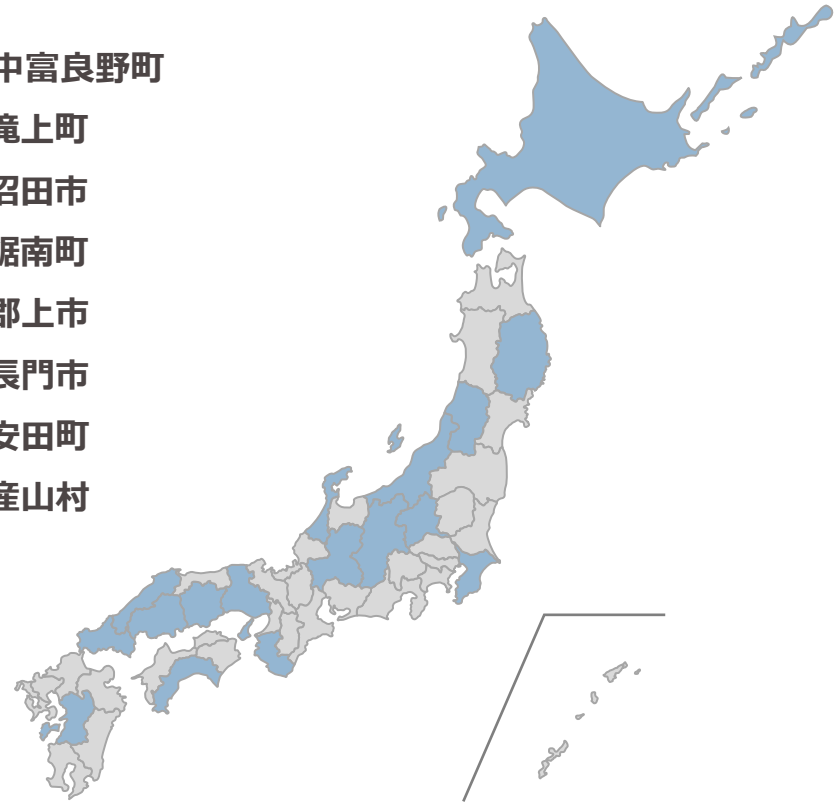
01 北海道奥尻町
02 岩手県金ケ崎町
03 山形県鶴岡市
04 石川県宝達志水町
05 兵庫県養父市

令和５、６年度

01 北海道蘭越町
02 北海道古平町
03 北海道東神楽町
04 北海道むかわ町
05 岩手県久慈市
06 新潟県糸魚川市
07 長野県飯山市
08 和歌山県北山村
09 島根県西ノ島町
10 岡山県笠岡市
11 岡山県井原市
12 広島県三次市
13 熊本県宇城市

令和６、７年度

01 北海道中富良野町
02 北海道滝上町
03 群馬県沼田市
04 千葉県鋸南町
05 岐阜県郡上市
06 山口県長門市
07 高知県安田町
08 熊本県産山村



北海道　奥尻町（１／２）

隊員情報：原島 崇聡（農村振興局総務課）、廣部　佑哉（国土政策局総合計画課）

奥尻町の魅力ポイント

■面積　142.99km²　■人口　約2,300人　■指定地域　離島

- 観光業がさかんでウニやアワビなどの海産物が自慢！
- 奥尻町産のぶどうの６次産業化に成功！
- 脱炭素先行地域として「サスティナブル・アイランド奥尻」を目指す
  地熱発電が取り組みの目玉でエネルギーの地産地消を目指す
- 離島留学生によるまちづくりがさかん！
  地域の特産品のマルシェや物販等を高校生主体で開催
- 平成５年北海道南西沖地震の津波災害から復興

マスコットキャラクター
「うにまる」

奥尻ワイナリーの工場内

観光シンボルの「なべつる岩」と
うにまるモニュメント

奥尻高校の授業風景

北海道　奥尻町（２／２）

隊員情報：原島 崇聡（農村振興局総務課）、廣部 佑哉（国土政策局総合計画課）

奥尻町の課題

■政策分野　定住対策・地域交通・観光対策

- 奥尻町の離島留学は好評で定員も充足、今後は卒業後の定住へつなげていく必要
- フェリー、バス、航空路線の赤字縮小、限られた予算内での利便性の向上が課題
- 地域の基幹産業である観光に対し、新型コロナウィルス感染症による来島者の減少や、公共工事の増加に伴う建設業従事者の滞在による島内宿泊施設の不足などが大きな打撃

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 令和５年４月に観光協会HPの改善案を提案　→　観光協会にてHPが改善
- 令和５年５月に離島留学生コミュニティ立ち上げ
- 宿泊施設確保のための意見交換や冬季の観光コンテンツ作りに関する助言などを実施
- 現地視察や意見交換を踏まえ、中長期的に取り組むべき課題と対応策を提案

取組の成果

- 離島留学生コミュニティが立ち上げられ、関係人口作りの土台ができた。
- 離島留学生コミュニティと奥尻高校が連携し、コミュニティ関係者を増やすことができた。

今後の展望

- 離島留学生コミュニティにおいて、中核となるメンバーとの意見交換、関係人口づくりに取り組む他自治体での取組やコミュニティオーガナイズに係る手法の紹介などを通じて、活動運営の伴走支援を行う。
- 観光協会の体制確保や温泉水の活用、離島留学生コミュニティの拠点設立のアドバイス等を実施する。
- 離島留学生コミュニティが実施する情報発信、イベントなど様々な地域活性化の取組の伴走支援を行う。

岩手県　金ヶ崎町（１／２）

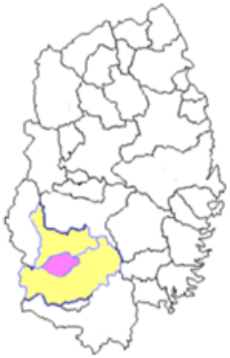
隊員情報：山田健太郎（農村振興局都市農村交流課）、北田恵一（国土政策局総合計画課）、呼子真人（国土政策局離島振興課）

金ヶ崎町の魅力ポイント

■面積　179.76km²　■人口　約1.5万人　■指定地域　豪雪

■東北屈指の産業集積地

岩手県中部（金ヶ崎）工業団地は311haと東北地方最大級であり、トヨタ自動車東日本、デンソー岩手、アイシン東北、シオノギファーマー等、全24社が操業している。



■重要伝統建造物群保護地区「城内諏訪小路地区」

旧奥州街道沿に伊達氏の拠点であった「金ヶ崎要害」があり、その城と武家町の歴史的景観が今なお色濃く残る「城内諏訪小路」は国の重要伝統建造物保存地区に選定されており、着物で散策する体験などができる。

■特産品のアスパラガス

金ヶ崎町では、園芸振興の最重点作物にアスパラガスを掲げ、県内一の作付け面積と生産量を目指している。4月頃から露地ものの収穫が始まり、5月に「金ヶ崎町農業まつり・アスパラ収穫祭」が開催される。

岩手県　金ケ崎町（２／２）

隊員情報：山田健太郎（農村振興局都市農村交流課）、北田恵一（国土政策局総合計画課）、呼子真人（国土政策局離島振興課）

金ケ崎町の課題

■　少雪時を踏まえた安定した除排雪体制の確保、除雪オペレーターの技術力の維持

除雪オペレーターの高齢化が進む中で、若手オペレーターを確保・技術力向上も見据えて、除雪体制を維持していきたい

■　人口減少対策

人口減少率は緩やかだが高齢化が進んでおり、集落毎にみると主に農業振興地域において地域事業や共助の担い手の不足

■　公共施設最適化配置に向けた生活圏の視点について

公共施設最適化配置を検討するにあたって、ハード（位置）としての生活圏とソフト（つながり）としての生活圏を整理

応援隊の活動報告

これまでの活動

■　少雪時を踏まえた安定した除排雪体制の確保、除雪オペレーターの技術力の維持

⇒県レベルを含めた他自治体の事業の共有及び豪雪地帯安全確保緊急対策交付金の情報提供を行なった。

■　人口減少対策

⇒他自治体の交流促進事業の事例提供や二地域居住促進の取組を紹介した。

また、総務省の関係人口の取組や援農・農業ボランティアのうち金ケ崎町でも活用の可能性がある事業を提案した。

■　公共施設最適化配置に向けた生活圏の視点について

⇒官民、多分野、広域の連携による「地域生活圏」の形成に係る取組について紹介した。

山形県　鶴岡市（温海地域）　（１／２）

隊員情報：石井信（不動建局建設振興課）、岩下隆成（国政局総合計画課）、笠野良太（農振局農村計画課）

鶴岡市の魅力ポイント

■面積　1311.53km²　■人口　約11.8万人　■指定地域　過疎

- ３つの日本遺産　　出羽三山、サムライゆかりのシルク、北前船
- サイエンスベンチャー拠点　　慶應義塾大学先端研、YAMAGATA　DESIGN
- 世界に認められた食文化　　ユネスコ食文化創造都市に認定
- **開湯1,200年の歴史を誇る「あつみ温泉」**
- 経済産業省　伝統的工芸品「羽越しな布」
- **在来作物「焼畑あつみかぶ」の原産地**
- ブランド水産物　　紅えび、庄内おばこサワラ、庄内北前ガニ

➡歴史と最先端技術の温故知新が共存、海と山両方の恵みを楽しめる自然豊かなまち！

- **第62回農林水産祭で越沢自治会が「むらづくり部門」で内閣総理大臣賞を受賞！**

焼畑あつみかぶ

国宝　羽黒山五重塔

SUIDEN TERRASSE

山形県　鶴岡市（温海地域）　（２／２）

隊員情報：石井信（不動建局建設振興課）、岩下隆成（国政局総合計画課）、笠野良太（農振局農村計画課）

鶴岡市温海地域の課題

■政策分野　農産物の販路拡大・地域の担い手確保

- 在来作物「温海カブ」の生産農家の高齢化による栽培戸数と生産量の減少
- 温海カブを栽培する際の焼畑農法を始めとした栽培・加工技術の継承者の減少
- 焼畑農法によって育てる温海カブ**「焼畑あつみかぶ」のブランディング・高単価化・販路拡大**

焼畑 YAKIHATA ATSUMIKABU あつみかぶ

実際に訪問したところ・・・

- 生産量が少量・不安定で、既存販路にも高付加価値品を充分提供できていない
- 生産農家ごとに品質やブランド化意識に差があり、販売機会を生かし切れていない

応援隊の活動報告

これまでの活動

- R4年8月以降、概ね月１回程度のオンラインミーティングを実施。R4年11月、R5年11月、R6年11月の３回現地に訪問。
- 現状把握・課題整理・対応方針作成について隊員としての目線で助言。

取組の成果

- **生産量確保に必要な人手の確保に向け、収穫体験を盛り込んだ「農業労働力支援ツアー」の造成を提案。**
  同趣旨の取組を別地域で行い、隊員とつながりのあった**JA全農・JTBの担当者を紹介**。
- JA全農山形・JTB等の協力のもと、**R6年11月に「農業労働力支援ツアー」を開催**。

今後の取組について

- 「農業労働力支援ツアー」について、**改善点（☆）などを整理した上で、より生産量向上に資するプランとして次年度以降継続する。**

☆　新たな施策であり、関係者間での実施目的の共有が途上（周辺効果を含めた交流人口確保（観光・地域振興）策として捉えられ、農業関係者に生産量を増やすための取組としての認識されていない 等）、プランとしての熟度の向上　等

- 当初からの課題であった販路拡大については、**ECサイトの更なる活用等の応援隊の提案を踏まえ、市として対応を検討。**

石川県　宝達志水町（１／２）

隊員情報：下瀬 耕三郎（農村振興局農村計画課）、鹿目 皓平（国土政策局総合計画課）

宝達志水町の魅力ポイント

■面積　111.51km²　■人口　約1.2万人　■指定地域　豪雪・半島

世界農業遺産に登録されている「能登の里山里海」

金沢市から車で30分の好立地

■ 観光資源：

世界に３箇所しかない車で走れる砂浜「千里浜なぎさドライブウェイ」、能登最高峰（標高637.1m）の「宝達山」

■ 特産物：

生産が困難な高級いちじく「黒蜜姫」、高級ぶどう「ルビーロマン」、白いダイヤモンド「宝達葛」、地域固有の「紋平柿」、「オムライス」

千里浜なぎさドライブウェイ

高級ぶどう「ルビーロマン」

CFで資金を募った宝達志水大花火

石川県　宝達志水町（２／２）

隊員情報：下瀬 耕三郎（農村振興局農村計画課）、鹿目 皓平（国土政策局総合計画課）

宝達志水町の課題等

■政策分野　まちづくり

- 人口減少や高齢化による農業者の減少、町内事業者の経営環境悪化等に加え、若者の流出及び町内所得の域外流出により町の活気が失われている。また、2024年１月の能登半島地震により被災し、状況悪化が加速
- このような状況の中、多様な関係者を巻き込みながら、農作業の担い手確保や特産物の高付加価値化等による「持続的に稼げる地域づくり」を目指す。

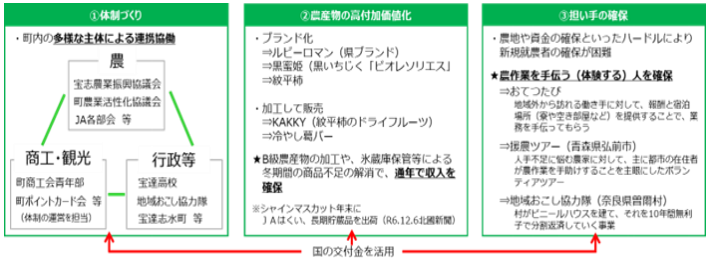
応援隊の活動報告

これまでの活動

- 2022年度の活動開始後、商業施設の構想実現に向けて検討してきたが、能登半島地震の影響により、当該構想の早期実現は困難と判断
- 2024年度は、定期的なオンライン打合せによる意見交換や、現地視察や町長との意見交換（９月）等を実施

取組の成果

- 町の強みや現状の課題を洗い出し、「持続的に稼げる地域づくり」の方策をコンセプトペーパーとしてまとめ上げるため、応援隊として伴走支援
- また、コンセプトペーパーの実現に活用可能な施策や制度を紹介



コンセプトペーパー（案）

今後の展望

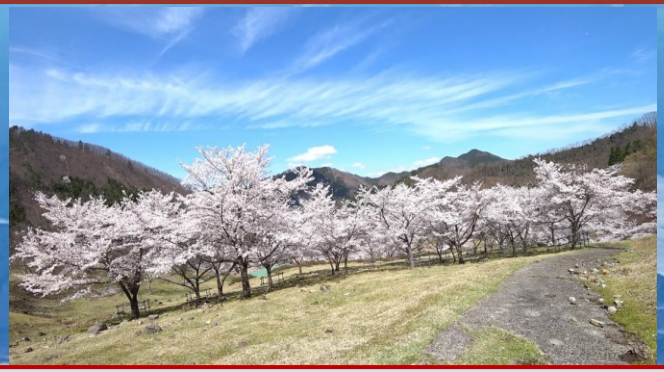
- 町内の多様な主体による取組体制を整備
- 各種制度・補助金を活用しつつ、コンセプトペーパーを実現。また、中長期的には、農業と観光業の連携による関係人口の更なる拡大や、一旦断念した商業施設についても実現を目指す。

兵庫県　養父市（１／２）

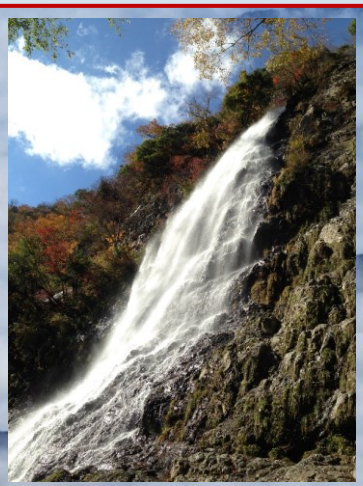
隊員情報：野村 研太、坂本 祐麻（国土政策局総務課）、吉見 奈津歩（農村振興局農村計画課）

養父市の魅力ポイント

■面積　422.9km²　■人口　約2.1万人　■指定地域　過疎・豪雪



- 棚田王国！別宮、宮垣、能座が「つなぐ棚田遺産」
- 温泉王国！とが山温泉、やふ温泉、若杉高原温泉、関宮温泉
- 冷涼王国！高い標高、夏は避暑！冬はスキー！



- 畜産王国！但馬牛、八鹿豚、但馬鶏　そろい踏み☆彡
- 土産王国！棚田米・日本酒、地場産の朝倉山椒・ゆずを活用したおつまみやデザートが豊富　お土産に困らない✊
- 改革王国！いち早く国家戦略特区申請。企業農地取得特例、高齢者雇用特例、旅館業法要件緩和等

兵庫県　養父市（２／２）

隊員情報：野村 研太、坂本 祐麻（国土政策局総務課）、吉見 奈津歩（農村振興局農村計画課）

養父市（別宮地区）の課題

■政策分野　地域振興

■ 「つなぐ棚田遺産」に認定されている別宮の棚田は、兵庫県最高峰（氷ノ山）を臨む棚田として写真家や棚田愛好家等に人気。また、棚田は一般に縦に長いものが多いが、本棚田は横に広く、平野のように開けた棚田という点に希少性と特徴。本棚田は観光の起爆剤として期待される反面、①別宮地区の人口減少・高齢化により、棚田の維持管理のための人的コストが高まっている点、②案内するための看板が少なく、動線が定まらない点に課題がある。

応援隊の活動報告

これまでの活動

※：下記の他、月１ペースでオンラインで打合せを実施

■ Ｒ４年５月：オンライン打合せ（市より別宮の棚田に関する維持管理について問題提起）
■ ６月：現地視察（市長等との意見交換、**住民との意見交換**、別宮の棚田等の視察）
■ ９月：オンライン打合せ（**12に及ぶ解決策の提示**、市より新たに看板設置（宮垣、能座、別宮の３棚田）に関する問題提起）
■ 12月：現地にて、①地区代表者に指定棚田地域の申請（※１）等について説明・意見交換、
②**市とともに国道河川事務所に、国道沿いへの３棚田それぞれの看板設置について相談**

※１：指定棚田地域に指定された場合、農林水産省事業の補助率の嵩上げ等の支援を受けることができる

■ Ｒ５年５月：オンライン打合せ（①住民間合意形成の進捗、②看板設置に向けた調整状況の確認）
■ 11月：オンライン打合せ（①指定棚田地域採択の報告。ただし棚田維持に向けた**住民間合意形成は不調に終わったとの報告**を受ける。②**看板（宮垣の棚田）の工事開始**の報告）
■ Ｒ６年６月：オンライン打合せ（①大学サークルとの農村マッチング事業の進捗、②看板設置の進捗の確認）
■ ９月：現地視察（市長等との意見交換、３棚田の視察等）

取組の成果

■ ①棚田の維持に向け、地域内で管理体制が構築されるよう２年間支援してきたが、住民間での合意形成は不調に終わった。②Ｒ５年12月に、国道に看板が設置（宮垣の棚田）。他の２棚田への動線を選定した上で、国道河川事務所と調整していく。③大学サークルとの農村マッチング事業では、別宮地区で田植え、稲刈り、急傾斜の草刈作業を実施。また、意見交換会を行い、地域の課題を共有した。引き続き、進捗を確認していく。

設置した看板

北海道　蘭越町（１／２）

隊員情報：堀田 直之（農村振興局水資源課）、兵庫 悠太（国土政策局地方政策課）

蘭越町の魅力ポイント ■面積　449.78km² ■人口　約4,400人 ■指定地域　過疎、振興山村、特豪

- ニセコに隣接する地域として尻別川をはじめとする川、山、海すべてがそろった自然豊かな町
- 町内で生産している「らんこし米」は、全国各地のお米グランプリで入賞実績があり、美味。また、蘭越町では全国米-１グランプリを開催しており、米の町としてのブランド化に力を入れている！
- 米だけでなく野菜、ワイン用ブドウ、薬草などの農産物やその加工品が作られており、すべてがおいしい！
- 町内には７つの温泉郷があり、それぞれ良質で異なった泉質が堪能できる！

米をおかずにご飯が進む！らんこし米

新たな特産品！リモチーソの加工品

温泉が湧く！大湯沼

北海道　蘭越町（２／２）

隊員情報：堀田 直之（農村振興局水資源課）、兵庫 悠太（国土政策局地方政策課）

蘭越町の課題

■政策分野　農作物のブランド化、観光振興、新規就農

- 町名及び「らんこし米」について、全国的な知名度が低いため、PRの検討が必要
- 町の観光マップが更新されていないため、観光客は最新の情報の把握が困難
- 町が民間企業と連携した薬草事業における販路拡大や老朽化した米関連施設の更新が必要
- 町として農業振興を推進しているため、新規就農者の確保が必要

応援隊の活動報告

これまでの活動

- ２,３か月に１回程度webで役場と打ち合わせを行い、町の課題・方向性を確認
- 現地調査を２回実施し、農家、地域おこし協力隊、観光物産協会、役場等と意見交換するとともに、問題の深掘りを実施

取組みの成果

- 町の新たな取組みである薬草事業の推進に有効な支援制度を探し出し、町に情報を提供
- 観光資源の整理、外部からの視点の提供を実施し、町内観光マップ作成の走り始めを支援

今後の展望

- 地域のブランド化について、さらに課題を深掘りし、方向性を検討
- 観光客を呼び込むのための入口となる町内観光マップを最新版へ更新し、町の魅力を発信

北海道　古平町（１／２）

隊員情報：橋本　英樹（農村振興局　農村政策部　農村計画課）、
東　翔太（国土政策局特別地域振興官付）、山倉　宏太（国土政策局総合計画課）

古平町の魅力ポイント

■面積　188.4km²　■人口 約2,700人　■指定地域:半島・豪雪

■ 魅力あふれる“海の幸“ ！

古くから鰊漁やタラコを中心とした水産加工業などで栄えた“海のまち”であり、積丹地域最大の水産物流通拠点である古平漁港を有する。

■ 道内屈指の“釣り場“ ！

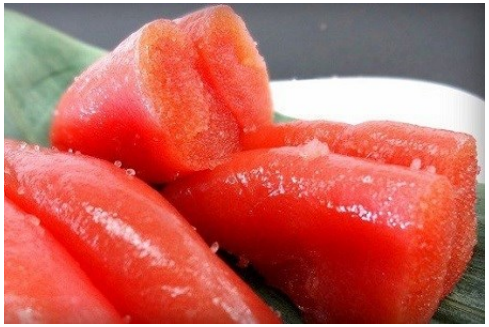
1年を通してほっけ、かれい、時期によってさくらます、ひらめ、するめいかを釣ることができる。

■ 大漁と海の安全を祈願！“天狗の火渡り“

朱色装束と天狗の面をした猿田彦が町内を周り、火の粉を蹴散らしながら炎の中を渡る伝統行事。

■ 源泉掛け流しの天然温泉！“ふるびら温泉しおかぜ“

積丹ブルーの日本海を望むロケーションにあり、源泉掛け流しの天然温泉。濃厚な褐色湯は地元の方々に愛されている。



北海道　古平町（２／２）

隊員情報：橋本　英樹（農村振興局　農村政策部　農村計画課）、
東　翔太（国土政策局特別地域振興官付）、山倉　宏太（国土政策局総合計画課）

古平町の課題

■政策分野：観光振興

■ 年間１００万人以上の観光客が訪れる道内有数の観光地の「積丹町」や「余市町」に挟まれた立地ながらも、古平町への観光客はその１割にも満たない（年間１０万人弱）
■ 「通り過ぎる町」からの脱却を図るため、他の市町村との広域連携施策の検討や、古平町で盛んな海業の振興、現在閉鎖しているキャンプ場の活用により観光客の取込みを検討
■ ふるさと納税を活用して、地域の水産資源（ほっけ、たらこ）の魅力を活かした地域振興を推進

応援隊の活動報告

これまでの活動

■ 担当者と隊員でオンラインの打合せを実施し、令和7年４月に正式オープンする道の駅（～道の駅ふるびらたらこミュージアム～）の戦略と課題について意見交換
■ 古平町への誘客促進の観点から、地域で祭りを起こすことを検討。
他地域で創設された祭りの事例を収集し、意見交換

今後の方針

■ 観光客の誘致を促すため、道の駅周辺の道路・駐車場等の交通事情の改善や、特産品である「たらこ」にについて、食やアート、学習等の多様な観点から魅力を発信
■ 町の魅力を発信するため、道の駅以外の方法でも町おこしする方法を模索

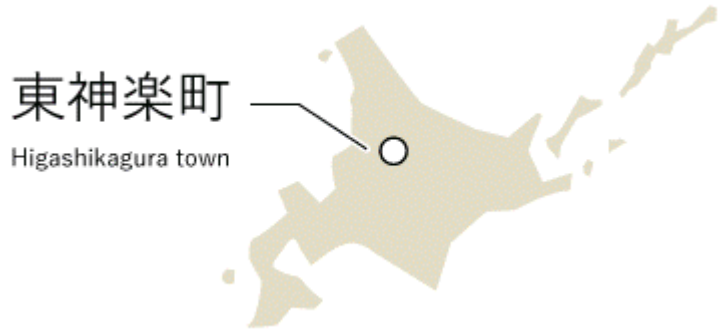
北海道　東神楽町（１／２）

隊員情報：大川　晃祐（国土政策局総務課）、田中　優喜（農村振興局総務課）

東神楽町の魅力ポイント

■面積　68.5km²　■人口　約9,800人　■指定地域　豪雪

- 旭川空港の所在地であり、抜群のアクセス！
- 旭川、美瑛、大雪山など、人気観光地に近接！
- 農地と住宅地のゾーニングが明確で都市計画の成功例
- 子育て支援、活発なコミュニティ活動
  行き届いた除雪などによる高い住民愛着度と満足度！
- 米が名産の稲作地域、多品目の野菜の出荷、
  超高品質家具の生産
- 全国トップクラスの農業の労働生産性と少ない耕作放棄地！



北海道　東神楽町（２／２）

隊員情報：大川　晃祐（国土政策局総務課）、田中　優喜（農村振興局総務課）

東神楽町の課題

■政策分野　観光振興・空き家対策

- 旭川空港の所在地であり、富良野美瑛地区に隣接しているが、飲食店等が少なく、観光客に素通りされてしまう
- 市街化調整区域内の空き家が増えている

  →市街化調整区域における規制について、弾力的な運用により、空き家で地元産食材を活用した飲食店を開業できるようにし、観光振興と空き家問題の解決を図れないか
- 住みやすさや立地を活かした二地域居住の呼び込み

マスコットキャラクター
「かぐらっき～」

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 随時のオンライン打合せ、昨年７月に現地訪問による意見交換と町内の視察
- 市街化調整区域内の空き家活用のための規制の弾力的な運用について情報収集等

取組の成果

- 他地域における状況の整理など、町が関係機関等と調整を行うにあたって必要な情報の収集。
- 当該情報を元に、町において、関係機関等との調整を実施。

今後の展望

- 町役場において、引き続き関係機関等への働きかけ・調整を進める。

北海道　むかわ町（１／２）

隊員情報：長崎 桃子（農村振興局地域整備課）、石川 早紀（農村振興局農村計画課）、髙村 明宏（国土政策局地方政策課）

むかわ町の魅力ポイント

■面積　711.36km²　■人口　約7,300人　■指定地域　過疎・振興山村

■ 山・川・海が揃う、雄大な自然に囲まれた町

一級河川の鵡川(むかわ)が流れ、河口ではバードウォッチング、
中下流域ではサップエリアとして人気

むかわ町恐竜ワールド
ホームページ

■ むかわといったら鵡川ししゃも！

北海道の太平洋沿岸にのみ生息する希少種
スーパーで見かける樺太(からふと)ししゃもとは違った、深い脂の旨味が堪能できる

■ 自慢のほべつメロン

昼夜の寒暖差が大きい初夏のむかわで成熟した、甘くて柔らかな果肉が特徴

■ 世界から注目！　「むかわ竜」発掘の土地

世界的に珍しく、海成層から植物食恐竜の全身骨格化石が発掘
穂別博物館では、むかわ竜のほか発掘された多種多様な化石を展示。大人気の化石発掘体験も有り。

むかわ町公認キャラクター
「むかろん」

一級河川　鵡川

鵡川ししゃも

ほべつメロン

穂別博物館　むかわ竜
（学名：カムイサウルス・ジャポニクス）

北海道　むかわ町（２／２）

隊員情報：長崎 桃子（農村振興局地域整備課）、石川 早紀（農村振興局農村計画課）、髙村 明宏（国土政策局地方政策課）

むかわ町の課題

■政策分野　農業振興（担い手確保、遊休農地化対策）

- 新規就農モデルの構築による農業の担い手確保
- 労働力の確保や省力化に向けた取組の推進
- 雇用就農者の募集事業の検討

これまで、新規就農に向けた実践研修農場は随時研修生が入っていたが、近年は農業研修生の確保に苦慮。そこで、研修制度や内容を改善し、新たな研修生確保を図る！

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 定期的なオンラインミーティングで課題の把握やアイデアの提案を実施
- Ｒ５年７月、Ｒ６年８月に訪問し、農業関連施設等の視察や新規就農者等との意見交換を実施
- むかわ町が新規就農希望者に向けてブース出展する「新・農業人フェア」を視察
  就農への世間の関心、他自治体の取組等の確認のほか、ブースのレイアウト等について意見交換

取組の成果

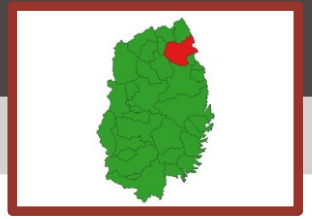
- R7年度からの地域おこし協力隊を活用した新規就農の研修制度を導入することに伴い、研修スケジュールの改善、隊員の就農・定住につなげる工夫、パンフレットレイアウト等について提案

今後の展望

- 農地の後継者不足、農地の遊休化を阻止するため、新規就農者を継続的に確保するための研修制度の検討、第三者継承の体制確立に向けた農業者の意向把握を進める
- むかわ町の知名度アップや新規就農推進の取組に関する情報発信や広報対象、広報手段、関係人口創出への提案など、町内外の人に関心を持ってもらう取組について検討

岩手県　久慈市（１／２）

隊員情報：勝木 龍一（輸出･国際局 国際戦略グループ）、松岡 里奈（国土政策局 総合計画課）



久慈市の魅力ポイント

■623.5 km² ■約3.1万人 ■過疎地域、特定農山村地域

歴史　琥珀と恐竜の眠る太古のロマン

恐竜が生きていた時代の地層から琥珀や古代生物の化石が発掘される太古のロマンを感じられる地域。琥珀の発掘量は日本一

観光　じぇじぇじぇ！？海女さんの聖地

NHK連続テレビ小説「あまちゃん」のロケ地として2016年からロケツーリズムに取り組む。小袖海岸で活躍する「北限の海女」も人気

美食　海と山に恵まれた久慈ブランド

通称エリート牧場で放牧される「山形村短角牛」や2019年から養殖試験を開始した「久慈育ち琥珀サーモン」をはじめとする特産品

岩手県　久慈市（２／２）

隊員情報：勝木 龍一（輸出･国際局 国際戦略グループ）、松岡 里奈（国土政策局 総合計画課）

久慈市の課題等

■政策分野：移住･定住･二地域居住

- 深刻化する人口減少や少子高齢化による産業活動やコミュニティーの維持等が最大の懸案事項。
- こうした状況に歯止めをかけるための取組として、出生率の向上と、特に若者の転出の抑制並びに転入の促進により、将来の人口減少の抑制や高齢化対策に取り組むことが重要。

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 令和5年度に現地訪問を2度実施し、学校給食センター、各種観光施設、移住関連施設、現地民間企業（農林業･食品分野）を視察。民間企業の要望に基づき、輸出関連施策等を紹介
- 「二地域居住促進法」の成立（2024年5月）を踏まえ、具体的な法案改正の背景、改正内容、関連施策（農泊関連施策を含む）を紹介。

取組の成果

- 現地のニーズや課題を踏まえ、関連施策や優良事例等を紹介。
- 上記を含めた日々の取組を通じて、「二地域居住促進法」（2024年11月施行）に基づいた、「特定居住促進計画」の作成に向けた方針決定に寄与。

今後の展望

- 「特定居住促進計画」の作成、二地域居住等促進協議会の組織化等、二地域居住を含めた移住･定住の促進に力を入れていく。

新潟県　糸魚川市（１／２）

隊員情報：島村 泰彰（国土政策局地域振興課）、鹿目 皓平（国土政策局総合計画課）
佐藤 柚弥（大臣官房秘書課）

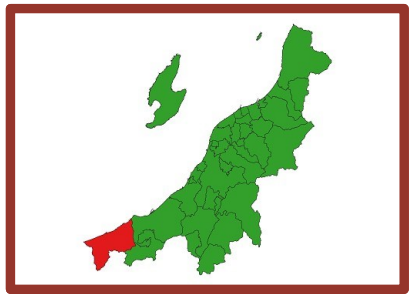
糸魚川市の魅力ポイント

■面積　746.24km² ■人口　約3.8万人 ■指定地域　豪雪、特定農山村、振興山村、過疎

■　日本初のユネスコ世界ジオパークのまち

・日本海から、北アルプスの山々まで壮大なスケールで広がる緑の大地。
　- ２つの国立公園（妙高戸隠連山、中部山岳）と３つの県立公園（久比岐、白馬山麓、親不知・子不知）
　- ８つの漁港と６つの海水浴場！

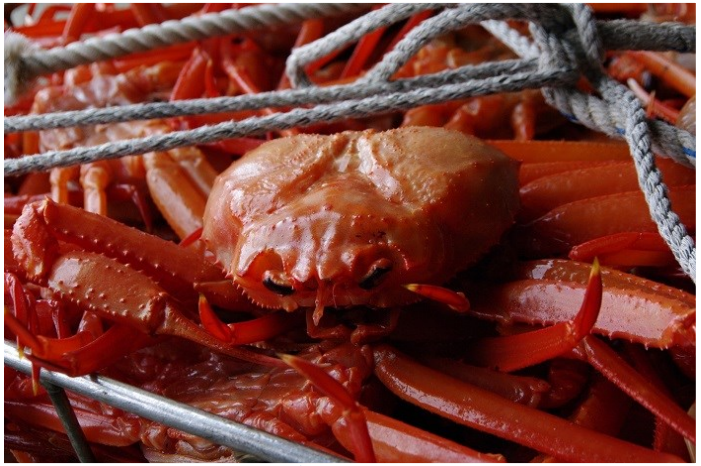
※ジオパーク：「地球・大地（Geo）」と「公園（park）」を合わせた造語



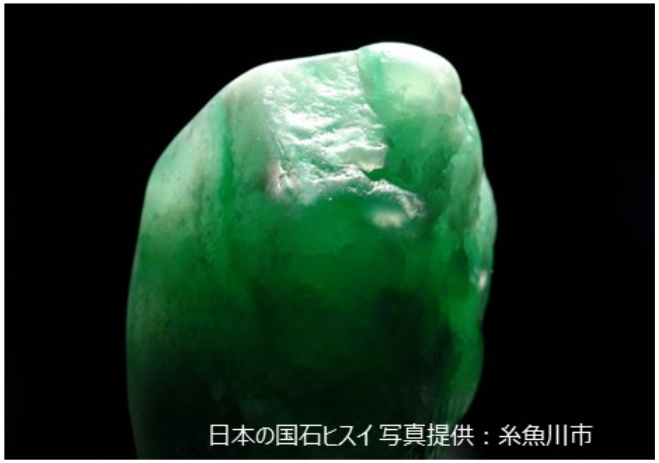
■　日本一の石ころタウン！

・フォッサマグナの上にある糸魚川は、岩石の種類が豊富！
・国石「ヒスイ」（2016.9.24選定）、新潟県の石「翡翠」（2022.11.4指定）

出典：糸魚川の自然の特徴/糸魚川市 (itoigawa.lg.jp)



出典：＜特産品＞ ベニズワイガニ漁の解禁（糸魚川市）/糸魚川市 (itoigawa.lg.jp)



出典：日本の国石 ヒスイ | 糸魚川ジオパークについて | 糸魚川ユネスコ世界ジオパーク (geo-itoigawa.com)

新潟県　糸魚川市（２／２）

隊員情報：島村 泰彰（国土政策局地域振興課）、鹿目 皓平（国土政策局総合計画課）
佐藤 柚弥（大臣官房秘書課）

糸魚川市の課題

■政策分野　公共事業

1	大型公共事業に伴う発生土の処理 【活動当初のテーマ】	・親不知道路・糸魚川東バイパス、松糸道路の整備に伴う発生土（約200万立米規模、時期未定）について、処理するまとまった敷地が極めて少ない。 ・さらに急峻な地形から災害発生土の処理リスクが存在。
2	地方行政のDX化	・市職員数も減少しており、職員採用が年々厳しい状況にある。将来的な人員不足でも行政運営のために業務のDX化が必須。 ・地すべり巡視員は、住民委託となっているが、過疎化・高齢化により、人員確保が厳しくなっている。省力化を図るためDX化が必須。
3	公営住宅のフル活用	・公営住宅の入居率が低迷し、今後の社会情勢を見据えた“公営住宅あり方”の検討が必要。 ・公営住宅の再編、最適化、用途変更 等の検討。

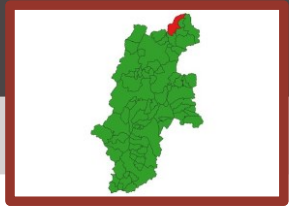
応援隊の活動報告

これまでの活動　現地訪問を計２回、 web会議を２～３か月に１回程度実施し、現場での課題・問題意識を把握するとともに、国の施策を紹介。

	課題	取組の成果	今後の展望
1	大型公共事業に伴う発生土の処理	・現地訪問時に、大型公共事業候補地、発生土の埋立候補地を視察。 ・「建設発生土の利活用事例集」、「建設発生土の官民有効利用マッチングシステム」について情報提供。 ・「新しい地方経済・生活環境創生交付金」の活用を見据えて、検討を開始する。	・大型公共事業の推進を図るため、国の交付金や補助金事業を活用し、将来構想や中長期計画の策定に着手する。 ・市の取組事項、関係機関への働きかけを整理し、短期的と長期的の取組計画を立案する。
2	地方行政のDX化	・情報通信技術（ICT）やデータ活用を通じた地域課題解決に精通した「地域情報化アドバイザー」の派遣制度の活用を提案。 ・地すべり巡視のDX化について、「デジタル田園都市国家構想交付金」での類似事例の紹介。	・全国の類似事例を調査・研究し、必要に応じて先進地を視察する。 ・応用できそうな事例について、国の各施策を活用する。
3	公営住宅のフル活用	・現地訪問時に、市内に点在する公営住宅を視察し、空き室の発生等の課題を把握。 ・公営住宅の空き住戸について、目的外利用も含めて、概要・手続、活用事例を提供。 ・「新しい地方経済・生活環境創生交付金活用」の検討についてディスカッションを実施。	・全国の先進事例を調査・研究し、公営住宅の目的外使用の活用モデルを検討・立案する。

長野県　飯山市（１／２）

隊員情報：佐々木 優（農村振興局総務課）、平野 健太（国土政策局地域振興課）、
石井 樹（農村振興局農地資源課）



長野県飯山市の魅力ポイント　■面積　202㎢　■人口　約1.8万人　■指定地域　特定農山村（一部）、過疎、特別豪雪地帯

- 平成27年に北陸新幹線が開通したことで、**東京駅から100分**とアクセスが良くなった。
- 宝島社『田舎暮らしの本』が2023年版**「住みたい田舎」ベストランキングで全国ベスト3**にランクイン。
- 平成18年から現在までの**移住者数は約1200人**となっている。
- 飯山市は**豊かな自然と四季の美しさ**がある。
  菜の花や里山の山野草が咲き乱れる春
  山と田んぼの緑に包まれる夏
  黄金色の稲穂が揺れ、鮮やかな紅葉に染まる秋
  一面が銀世界に包まれる冬
- **トレッキング、スキーに温泉**を楽しむことが出来る。
- 特産品は**お米（コシヒカリ）、アスパラガス、みゆきポーク**

長野県　飯山市（２／２）

隊員情報：佐々木 優（農村振興局総務課）、平野 健太（国土政策局地域振興課）、
石井 樹（農村振興局農地資源課）

飯山市の課題

■政策分野　農業振興

- 柳原地区は 20 年前から稲作を中心にした集落営農組織に取組む地域であるが、下記の課題。
  - ほ場整備から40年近く経過し、農業用施設の老朽化が進むが、土地持ち非農家が多いことや、**基盤整備の農家負担が懸念**され、議論が進まない。
  - 多面的機能・中山間地域支払に取り組むも、高齢化により農地の**保全活動への不安**がある。
  - 集落営農組織の高齢化が進み、**後継者の不安**がある。

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 令和６年３月に現地を訪問し、柳原地区関係者と地域の農業の課題について意見交換を実施。
- 令和６年８月、柳原地区関係者とオンラインで意見交換を行い、次世代に引き継ぎのできる地域について話し合うワークショップ（WS）を行う方向で調整。
- 令和６年11,12,１月、WSの運営等について関係者とオンラインで意見交換。
- 令和７年１月28日、WS「柳原地区の農業を考える会」に参加し、参加者の意見交換をサポート。

フューチャーデザイン
ワークショップ

今後の方針

- WSを受けて、ハード（農地の基盤整備）とソフト（農地の管理のあり方等）の両面から、具体的なアクションに向けたサポートを継続。
- 来年度５月に行うWS報告会にて、今後の課題解決のためのロードマップを地元住民に説明。

和歌山県　北山村（１／２）

隊員情報：有馬 伸明（農村振興局農村計画課）、菅 彩音（農村振興局防災課）、荒川 丈裕（国土政策局総務課）

北山村の魅力ポイント

■面積　48.2km²　■人口　約400人　■指定地域 半島振興対策実施、振興山村、特定農山村、過疎

3つの日本唯一！！

①　飛び地の村

和歌山なのに三重県と奈良県に
囲まれ和歌山県に接していない！

②　筏下り

和歌山県指定無形民俗文化財

600年以上の歴史をもつ新宮までの
木材輸送「筏流し」を引き継いだ
筏による観光川下り

③　じゃばら

・北山村に自生していた「幻の果実」
・「邪気を払う」語源の香酸柑橘
・花粉症効果により注目！

＋山に囲まれた自然を生かした名所がいっぱい！

キャンプ場

満点の星空

筏師の道

温泉

上瀞橋

雲海

和歌山県　北山村（２／２）

隊員情報：有馬 伸明（農村振興局農村計画課）、菅 彩音（農村振興局防災課）、荒川 丈裕（国土政策局総務課）

北山村の課題

■政策分野　空き家・交通

空き家対策

○村の人口減少が顕著な中、**村外からの移住を増やし、定住を進める**ことが必要。

○一方、村内は地理的に平地が限られ、移住・定住人口を増やすためには**住宅の確保が急務**。

○北山村内の空き家は増加しており、空き家率は全国平均（13.6%）を大きく上回る状況（40.47%）。

○そこで、村営住宅も数に限りがあるため、**老朽化の進む空き家の住宅としての活用**が課題。

交通空白対策

○北山村の主要な産業である観光業を維持発展させていくために、**平日に人を呼び込むことが求められる。**

○また、「熊野古道」人気による田辺市本宮町を訪れる**外国人観光客の北山村への呼び込みが求められる。**

○さらに、新宮市の高校へ進学する村内在住の子供の**通学手段の確保も求められる。**

○このため、北山村から和歌山県新宮市、田辺市までの**公共交通の空白地帯をつなぐ公共交通による移動手段の確保が求められる。**

応援隊の活動報告

これまでの活動

■ 令和５年度は、空き家、観光を課題として、現地視察やオンラインミーティングにより状況把握をしつつ、情報提供や外部団体を交えた意見交換会を実施。

■ 令和６年度は、北山村長期総合計画の施策のフォローアップや施策の推進を図ることを目的として、北山村の重要な課題として新たに上記の課題をピックアップ（オンライン打合せを３回程度実施）。

■ さらに、より現実的な課題解決方法を探るため、応援隊からの働きかけにより、北山村内に所属横断的なチームを結成（村の全課から１名ずつ選出の６名のチーム）。

■ 令和６年９月に現地視察を実施。双方で課題の詳細な背景を整理しつつ、応援隊からは課題解決方法の事例を紹介。また、課題についてより具体的な検討内容を整理し応援隊により検討案を作成。

今後の方針

■ 交通空白対策については、奥瀞道路Ⅲ期完成に合わせての路線の検討及び北山村への誘客促進に向けた旅行会社への働きかけを行う。

■ 空き家対策については、村が借り上げて、改修する制度等の活用を検討する。

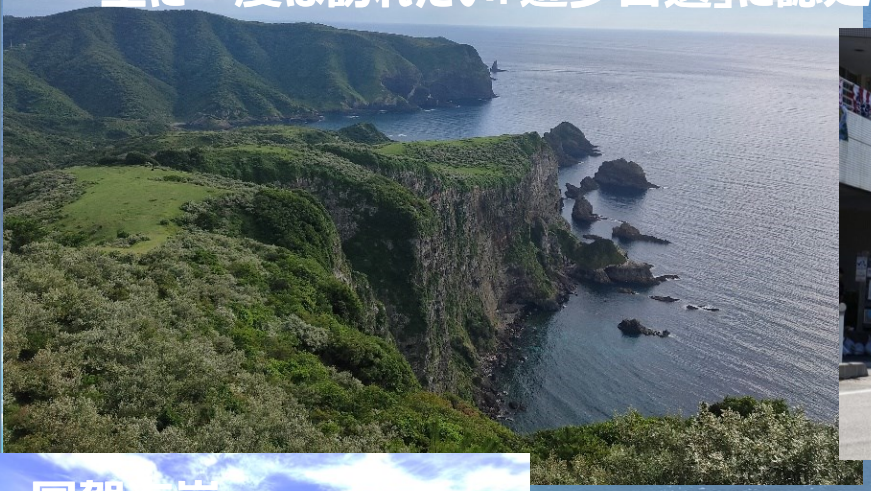
島根県　西ノ島町（１／２）

隊員情報：　仙波 大樹（大臣官房政策課）、深堀 貴良（国土政策局地方政策課）

西ノ島町の魅力ポイント

■面積55.96 km² ■人口 約2,500人 ■指定地域：離島・過疎

摩天崖（まてんがい）
海抜257mの大絶壁。
目下に広がる壮大な海や、荒々しい波と強い風によって侵食された崖で、日本有数の高さを誇る。
一生に一度は訪れたい「遊歩百選」に認定。



西ノ島ハーフマラソン
（写真は西ノ島町インスタグラムより）

まちの図書館「いかあ屋」
（行こうよの意）

国賀海岸
隠岐ユネスコ世界ジオパークを代表する景観

馬と牛が放牧！

町の特産品「さざえの缶詰」

島根県　西ノ島町（２／２）

隊員情報：　仙波 大樹（大臣官房政策課）、深堀 貴良（国土政策局地方政策課）

西ノ島町の課題

■政策分野：定住対策･産業活性化･観光

- 1次産品が島外へ流出し、供給が不安定
（基幹産業は漁業だが、本土で水揚げされるものが多く、島で流通する魚が少ない）
- 若い世代の本土への流出（事務系の職場が少ないことが一つの要因）
- テレワークオフィス、コンテナハウスなどの施設の利用者不足
- 隠岐諸島随一の景観資源を活かしきれていない

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 1年目
  - 8月に現地視察
  - 今後取り組む課題を整理し、隊員として視察を通して感じたことを伝達
  - 移住施策に関して先進自治体や法人の情報を提供
- ２年目
  - 国土交通省所管の二地域居住を促進するための改正広活法の活用に向けた情報提供
  - 浦郷漁港周辺の活性化を図るための将来構想を検討するためのまちづくり計画検討協議会にオブザーバー参加。8月視察時に現地参加

今後の方針

- 移住・二地域居住者を含めた関係人口の拡大や、若い世代の流出を防ぐための仕事・場所の提供方法について、制度や他地域の事例を紹介
- 二地域居住施策の活用について助言、広報戦略等、町が行政としてできることを助言、支援

岡山県　笠岡市（１／２）

隊員情報：野村研太（国土政策局総務課）、川橋美里（国土政策局総合計画課）、藤原茉美（水産庁漁政部）

笠岡市の魅力ポイント

■面積　136.2km²　■人口　約4.4万人　■指定地域　離島

＜笠岡の地理的特徴といえば！？＞

・岡山県だけど、福山経済圏

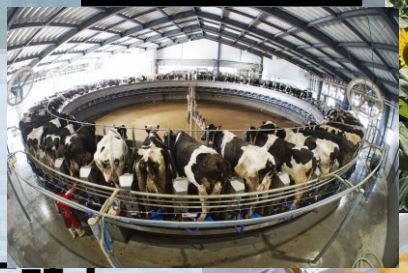
ここは岡山？広島？

・瀬戸内海と笠岡諸島

白石島（鎧岩。白石踊は国重要無形民俗文化財）

北木島（千鳥大悟の出身地（家族は今も在住）。
国会議事堂の大理石、大阪城石垣などを産出））

・笠岡湾干拓地（大規模農業、ひまわりやコスモス、
菜の花の花畑もきれい）



＜笠岡のおいしいものといえば！？＞

・県内給食の４割をカバーする牛乳！干拓に牛１万頭！

・最近人気の笠岡ラーメン（鶏チャーシュー乗せ鶏ガラ醤油ラーメン）

・岡山といえばやっぱり桃！白桃の香りがハンパない！

・瀬戸内海で獲れたシャコ！（笠岡市の市魚！）

・地ビール（六島でクラフトビールを醸造）

＜笠岡の特徴といえば！？＞

・カブトガニの生息地！カブトガニ博物館

※1928年（昭和3年）生江浜海岸が
「天然記念物カブトガニ繁殖地」として、国天然記念物指定。

・紅白でも放送されたよね！藤井風の家がすぐそば

岡山県　笠岡市（２／２）

隊員情報：野村研太（国土政策局総務課）、川橋美里（国土政策局総合計画課）、藤原茉美（水産庁漁政部漁政課）

笠岡市の課題

■政策分野　漁業振興、離島振興

■ 笠岡市は、瀬戸内海に面し、有人離島７島を抱える。離島部は人口減少、高齢化、経済活力の低下に悩まされる中、応援隊は主に下記２点の課題に取り組む。

①総合海洋教育の拠点をつくる事業である「渚の交番プロジェクト（渚の交番かさおかしまラボ（仮称））」を立ち上げ、収益事業として軌道に乗せる。

②飛島で行われている離島留学事業「フリースクール育海（はぐくみ）」が、（運営経費の裏付けのない）2025年以降も継続的安定的に運営できるための道筋を作る。

応援隊の活動報告

これまでの活動

■ 令和５年５月～８月：オンライン打合せ、現地視察
- 市より市の概況、有人離島の様々な課題の説明
- 市長との意見交換、有人離島等の視察、現況把握
- 地方応援隊として取り組む課題設定
- 離島留学における離島活性化交付金の活用についての宿題返し

■ 令和５年10月～11月：オンライン打合せ
- 渚の交番事業についての現況のヒアリング、方針議論等

■ 令和６年１月～５月：オンライン打合せ
- 渚の交番事業についての今後のスケジュール確認
- 島のお土産品案調べや漁港占有料についての宿題返し

■ 令和６年8月～11月：オンライン打合せ
- 渚の交番事業についての現況のヒアリング

今後の展望

■ ①「渚の交番プロジェクト」については、事業主体である「かさおか島ラボ」の事業内容の方向性について検討している段階。今後は、かさおか島ラボを中心に、事業計画の細部を詰めていく。

■ ②離島留学事業についても、今後とも継続的で安定的な運営に取り組む。（離島活性化交付金の申請を予定）

岡山県　井原市（１／２）

隊員情報：齋藤 天（農産局園芸作物課）、河合 春樹（国政局離島振興課）、藤井 駿（国政局地方政策課）

井原市の魅力ポイント

■面積　243.54km²　■人口　約3.7万人　■指定地域　過疎

■【井原デニム】国産デニムのルーツ！「デニムの聖地」

江戸時代から藍染織物の産地として発展。欧米のバイヤーから絶賛されており、ヨーロッパの有名ブランドやアメリカの高級ジーンズアパレル向けに多く輸出。 2019年、地域団体商標登録。

【ポスター】井原デニム
（提供／井原商工会議所）

■【美星の星空】天文学者が選んだ！「日本三選星名所」

天体観測の好適地、美星町。1989年に国内で初めて光害防止条例を制定し、星空保護の先駆的役割を長年リード。2021年、アジア初の星空保護区(コミュニティ部門)に認定。

【写真】美星天文台と美星の星空
（提供／美星天文台）

【ポスター】井原のぶどう

■【ブドウ・明治ごんぼう・美星満天豚】優れた農産物！

＊「くだもの王国おかやま」が誇るブドウ作りに適した気候や土地に恵まれた、西日本有数の産地。 品質の高さと厳選な選果・選別により、消費者や市場関係者等から高い評価。

＊約250年の歴史がある、粘土質の赤土畑でじっくり育った、きめが細かく筋張っていない、香り高いゴボウ。 2017年、イオンリテール㈱のフードアルチザン（食の匠）活動を始動。 2021年、地域団体商標登録。

＊世界が認めた星の郷「美星」で育てた極上の豚肉。飼料にコメを混ぜた特別な飼料が与えられた豚は、透き通るような脂と、きめの細かい肉質が特長。 2022年、商標を取得。

【ポスター】明治ごんぼう

【ポスター】美星満天豚
（提供／ＪＡ晴れの国岡山）

岡山県　井原市（２／２）

隊員情報：齋藤 天（農産局園芸作物課）、河合 春樹（国政局離島振興課）、藤井 駿（国政局地方政策課）

井原市の課題

■政策分野　地域振興・地域活性化

■「賑わい創出拠点」の整備

- 井原市芳井地区では、**人口減少、少子化・高齢化の進展**に伴い、**医療、福祉、産業、公共交通**　など広く問題が生じている。
- 一方、県が行う橋梁の架け替え事業に伴い、芳井地区にある唯一のスーパーが支障となる。
- 地元スーパーの代替機能のほか、**交流人口増加、防災体制の強化、産業の活性化等を目的とした「賑わい創出拠点」の整備を検討**。　⇒「賑わい創出拠点」は、道の駅としての整備を想定

応援隊の活動報告

これまでの活動

■ 賑わい創出拠点候補地や、主要観光地、農産物直売所等を視察（R6.８月）

■ 賑わい創出拠点整備検討会議（R6.１月～５月）への出席や不定期でのオンライン打合せを実施

県指定名勝の天神峡
（紅葉でも有名）

取組の成果

■ 賑わい創出拠点整備検討会議への出席等を通じて、活用可能な補助金等の助言を行った。

今後の展望

■ 賑わい創出拠点の予定地や整備・管理運営手法等の方向性が定まったため、他自治体の事例や活用可能な国や県の補助金の情報収集を行い、拠点整備を円滑に進める。

賑わい創出拠点候補地

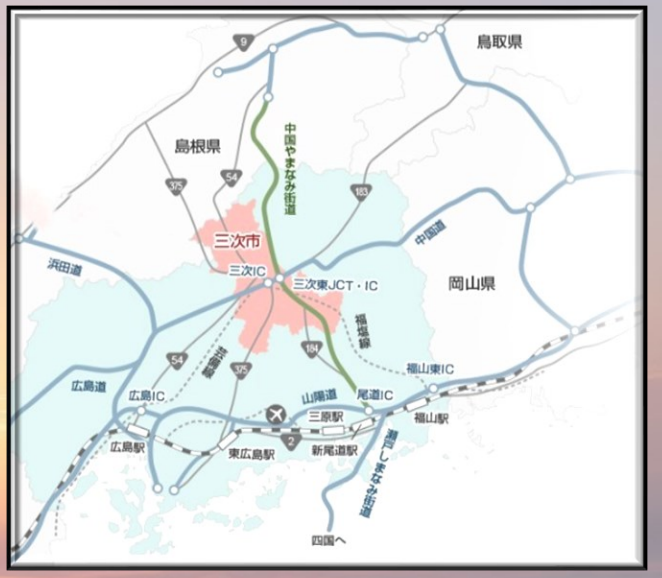
広島県　三次市（１／２）

隊員情報：伊藤　俊輔（国土政策局総務課）、知識　寛之（国土政策局総合計画課）、前鶴　啓太（大臣官房予算課）

三次市の魅力ポイント

■面積　約778km²　■人口　約4.9万人　■指定地域　過疎

- 中国地方の中心部に位置しており、古くから、山陰－山陽を結ぶ文化・経済・交通の要衝の地として栄えてきた町。
- 「三次の鵜飼」は、三次の夏の風物詩として400年以上にわたり広く愛され継承されてきており、広島県無形民俗文化財に指定されている。
- 黒の真珠こと「三次ピオーネ」や「TOMOEワイン」など、多くの特産品を「みよしブランド」としてブランド化に成功。三次ワインはG7広島サミットでも提供！
- 三本の川が合流する盆地の三次は、独特の地形によりさまざまな自然の恵みを享受している。秋から早春にかけては、三次の町をすっぽり覆う幻想的な「霧の海」を見ることができる。



三次の鵜飼

三次ワイン

三次の四季

※写真は三次市HPより引用

広島県　三次市（２／２）

隊員情報：伊藤　俊輔（国土政策局総務課）、知識　寛之（国土政策局総合計画課）、前鶴　啓太（大臣官房予算課）

三次市の課題・検討状況

■政策分野　地域公共交通

■ **JR芸備線の廃線危機**

→人モノ混載車両の追加等、新しい継続的な利用ニーズの確保を検討。

■ **路線バス・市民バス等、公共交通の路線維持**

→市内各地に点在する「道の駅」などに路線バスの起終点を設け、起終点より先に広がる範囲はデマンドタクシー等で対応するなど、運行範囲の棲み分けを図るバスネットワークの構築を提案。

また、乗客運賃以外の新たな収入について検討。

ロゴマーク
「みよし 人よし 元気よし」

応援隊の活動報告

これまでの活動

■ 月に１回程度、三次市担当者と隊員でオンラインにて打合せを実施。

■ 令和６年度は、路線バスの新たな収入源の確保・地域活性化の観点から、市内で集荷された野菜等を道の駅まで運搬し販売する貨客混載の実施を提案し、11月には、実証実験を実施した。

取組の成果・今後の展望

■ 実証実験において生産者、道の駅、バス会社の３者から概ね前向きな反応をいただけたことから、課題の解決策やより実効的なあり方を検討し、他のバス路線や道の駅も活用した貨客混載の横展開を図っていく。

※写真は三次市HPより引用

熊本県　宇城市（１／２）

隊員情報：上妻 誠也（国土政策局離島振興課）、村山 朋哉（大臣官房予算課）

宇城市の魅力ポイント

■面積　188.6 km² ■人口　約56,000 人 ■指定地域　半島

■自然と都市的機能のバランス

宇城市は、九州の経済大動脈である国道3号と、西は天草、東は宮崎県への結束点という地理的状況に恵まれ、美しい田園風景と不知火海の文化に彩られた自然景観も充実

■多様な特産物

・宇土半島南岸の不知火町は”デコポン発祥の地”
・土地条件を生かし、水稲やメロン、梨、ぶどう、柿、葉たばこなど、多様な農産物を生産

■おすすめポイント

・海岸部は江戸時代には、「漁港」「醸造」「商業」の町として栄え、世界遺産を含め名所多数
・若手の農業後継者が新たな取組を始めるなど、元気な一面も

松合土蔵白壁

永尾剱神社鳥居

デコポン発祥の地で、ほかにも沢山のフルーツが収穫

世界文化遺産　三角西港

熊本県　宇城市（２／２）

隊員情報：上妻 誠也（国土政策局離島振興課）、村山 朋哉（大臣官房予算課）

宇城市の課題

■政策分野　地域振興・農業振興

■ 人口減少の進行

・松合地区・豊野地区の人口減少は深刻であり、予測よりも急速に進行

松合地区

■ 関係人口・交流人口の増加

・不知火（デコポン）を含め地域資源が豊富であるが、**関係人口・交流人口の増加**につながっていない

豊野地区

■ 農業の担い手の確保

・地区の基幹産業である**農業における人手不足や後継者問題**が深刻

応援隊の活動報告

松合地区

■ 行政と市民をつなぎ、市の魅力の発信やイベント実施等を担っていける人材を確保・育成するため、市が中心となって**地域おこし協力隊の募集**に向け準備を進めた。応援隊としては、スムーズな募集と隊員の定着を図るとの観点から、募集要項の精査等を行った。

■ 今後、**隊員が決まり次第、活動を開始する予定**。２年目以降は、１年目の活動実績を踏まえて柔軟に対応。

豊野地区

■ 応援隊と若手農業者との意見交換時、人材確保と補助事業の使いづらさが課題と分かったため、市が中心となって**農業者向け労働力確保と補助金の活用に向けたフォーラムを実施**。中長期的な課題については**地域計画の策定過程で議論**。応援隊はフォーラムや地域計画の議論にあたり、適宜助言と国の事業の情報提供を行った。

■ 今後は地域計画の着実な実現を図るとともに、**労働力確保と農地利用について継続的に議論を実施する予定**。

北海道　中富良野町（１／２）

隊員情報：中元志門（経営局就農･女性課）、木田覚（国土政策局総合計画課）

中富良野町の魅力ポイント

■面積　108.65km²　■人口　約4,500人

■ ラベンダー観光発祥の地

・全国的に有名なファーム富田がある
・北星山ラベンダー園の観光リフトで空中散歩
・ラベンダー最盛期にラベンダーまつり＆花火大会

■ 道内有数の農産物の宝庫

・豊かな自然環境を活かした農業を推進する「クリーン農業推進のまち」
・町内生産量No.１　冷めても美味しい特A米「ななつぼし」
・盆地がつくる昼夜の寒暖差を利用した糖度の高い「ふらのメロン」
・玉ねぎ、ジャガイモ、カボチャ、スイートコーン、アスパラ等の多品目の野菜を生産

■ 豊かで美しい自然環境、風景を誇るまち

・十勝岳連峰、芦別岳と雄大な山々に囲まれている
・水田を中心とする美しくのどかな田園空間
・北星山から一望できる町並み

北海道　中富良野町（２／２）

隊員情報：中元志門（経営局就農･女性課）、木田覚（国土政策局総合計画課）

中富良野町の課題

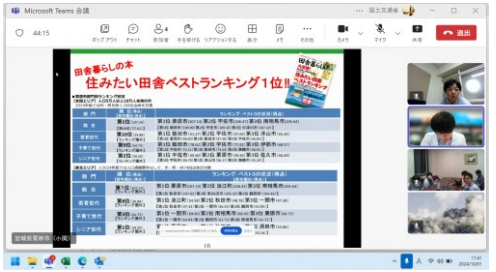
■政策分野　地域振興･都市計画整備

- 深刻化する人口減少や少子高齢化対策
- 駅周辺施設の空き家等の活用、町の中心部への人の流れ創出（中富良野駅～主要観光施設間）
- 役場庁舎周辺施設の公共施設の再編と有効活用
- 子育てしやすい環境整備、住宅･住環境の整備

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 令和6年5月活動開始。月1回程度のWEB打ち合わせや定期的な意見交換･情報提供を実施。
- 令和6年度には現地訪問を2度実施。町営ラベンダー園、老朽化公共施設等、各種観光施設（富田ファーム）、関係人口交流施設（まちなかオフィス）、現地民間（ナカフまちづくり㈱）、地酒祭を視察。
- 専門誌の住みたい田舎ランキングで全国１位に輝いた宮城県栗原市のWEBセミナーを開催。
  移住施策の背景、取組内容、関連施策を紹介。
- 中富良野町暮らし体験プログラムの令和7年度本運用に向けた実証に参加し、
  中富良野町と意見交換を実施。



今後の方針

- 住環境整備については、移住を希望する子育て世帯を呼び込める住環境の整備の取組を後方支援。町の中心部への人の流れ創出については、町職員および地方応援隊双方において意見出しを行い、一定の成果を目指す。
- 二地域居住の推進に関する取組や、観光案内所（令和７年度竣工予定）の効果的な運用への伴走支援。

北海道　滝上町（１／２）

隊員情報：小野寺卓（国土政策局総務課）、吉見奈津歩（農村振興局農村計画課）、森祐太（国土政策局総合計画課）

滝上町の魅力ポイント

■面積　766.89 km²　■人口　約2,200人　■指定地域　過疎・豪雪

■観光資源

・全国屈指の芝ざくら公園
【面積は10万㎡で日本最大級】

・四季折々の景色となる滝上渓谷「錦仙峡」

・約300種以上のハーブを栽培する、
香りの里ハーブガーデン

■特産物

・ハッカ
→生産量日本一の名産品
（国内生産量の95%）

・小麦、甜菜、紫蘇、スイートコーンなど
→盆地特有の寒暖差の大きい気候で
高品質な農作物を産出。

・林業
→町の林野率は約90%で、古くから
林業が盛ん
木質バイオマスの利用など、先進的な
取組にも挑戦中

北海道　滝上町（２／２）

隊員情報：小野寺卓（国土政策局総務課）、吉見奈津歩（農村振興局農村計画課）、森祐太（国土政策局総合計画課）

滝上町の課題

■政策分野　観光振興・移住施策

■人口減少による、担い手不足

農業、林業、観光業、サービス業などをはじめ、各種分野において担い手が不足している。

→特に看護、介護、保育士などのエッセンシャルワーカーが不足

→一次産業をはじめ、稼げる土壌があるにも関わらず、参入者が極端に少ない

→町職員も不足しており新たな取り組みには手が回らない

■特産品「ハッカ」の知名度・ブランド力不足

日本一の生産量にも関わらず、北海道北見市の方が有名

→　新たに「和ミント」として、道内等のコンビニで新商品を展開中

わずか5戸の農家で、ハッカの全国生産量の9割を出荷

応援隊の活動報告

■これまでの活動

・2か月に１回程度のWEB会議を実施し、現場における課題・問題意識の把握を実施

・町長の上京時に懇談を行い、町長の意向を確認

・7月30日～8月1日までの現地視察を行い、町役場の各部署や観光協会との意見交換を実施

・国の補助事業等に関する情報提供を実施

■今後の方針

・引き続きWEB打ち合わせや現地調査を行い 、 引き通き問題解決の方向性を定める。

・観光施策・移住政策について方向を定め、地域資源等の深掘り、外部からの視点の提供を進める 。

・地域ブランド化を進める農業についても、方向性を定め、課題を深掘りする 。

・移住希望者向けの情報発信資料の改善

群馬県沼田市（１／２）

隊員情報：安居俊裕（農村振興局農村計画課）、嶋崎雄介（国土政策局総合計画課）

沼田市の魅力ポイント

■面積　443km²　■人口　約4.4万人　■指定地域　豪雪地域

- **豊かな自然**

河岸段丘

玉原湿原

吹割の滝

- **フルーツ狩り**

- **東京から好アクセス**

新幹線：東京⇔上毛高原　60分　　高速道路：練馬IC⇔沼田IC　90分

写真出典：沼田市観光協会

群馬県沼田市（２／２）

隊員情報：安居俊裕（農村振興局農村計画課）、嶋崎雄介（国土政策局総合計画課）

沼田市の課題

■政策分野　森林活用、職員研修

- 沼田市は現在、**全国初の森林文化都市宣言を行った市**として、森林整備、脱炭素、及びＧＤＸといったテーマに基づいて調査・研究を行い、市が今後採るべき戦略や令和７年度以降に立ち上げるべき新規事業を、アクションプラン（AP)として編成中。

- APの特長として、**４０歳未満の市職員で構成した委員会がプランを内製**しており、若手・中堅職員の**ＯＪＴを通じたタスク管理能力、プレゼンテーション力、調整力の向上も目的**としている。

- 沼田市内の職員による検討のため、**検討の内容が一方向に向きがち**。応援隊員はアドバイザーとして参画、国（外部）の視点からの助言・情報提供や委員との意見交換などを行う。

応援隊の活動報告

令和6年6、7月　森林文化都市AP委員会（若手職員のディスカッション等）へのオンライン参加

令和6年8月　　ぬまた未来共創会議への参加
（沼田に住んでいて良かったこと・困ったことベスト3＆20年後のぬまたはどんな姿？」）

令和6年9月　　森林文化都市AP推進会議（審査会）へのオンライン参加・現地視察

令和6年10月～12月　現場からの要望や問合せ等に対する随時の対応

今後の予定　　定期的な打合せ、提案、今後の取組に向けた検討

千葉県　鋸南町（１／２）

隊員情報：天沼 理穂（国土政策局地域振興課）、氏家　みお（農産局園芸作物課）

鋸南町の魅力ポイント ■面積　45.17km² ■人口　約6,700人 ■指定地域　半島・特定農山村・過疎

■　千葉県の南西部に位置し、東京からは高速道路で80分、フェリー、JR線で約２時間の好アクセス。

道の駅保田小学校

■　平成26年３月に廃校となった町立保田小学校を小学校の雰囲気を残しつつリノベーションし、平成27年12月に「都市交流施設」として開業。

■　学校らしさを生かした施設が人気を集めており、2024年全国道の駅ランキング２位の人気観光スポット。

教室に宿泊することができる！
黒板アートも大歓迎

道の駅とは思えない敷地の広さ！

懐かしい給食を再現

鋸山

■　日本百低山の１つで、町名の由来にもなっている。
　採石場跡など観光スポットが多く、ロープウェイもあり、気軽に登ることができる。

■　鋸山日本寺にある「薬師瑠璃光如来」（総高31.5m）は、座像の石仏として日本一の大きさを誇る。

千葉県　鋸南町（２／２）

隊員情報：天沼 理穂（国土政策局地域振興課）、氏家　みお（農産局園芸作物課）

鋸南町の課題

■政策分野　観光・関係人口創出

- 道の駅保田小学校をはじめ多くの観光資源を有するものの、関係人口・定住人口の増加に結びついておらず、少子高齢化が進んでいる。
- 町で行っている情報発信がうまくいっておらず、力を入れている育児支援や教育制度の周知が進んでいない。

取組のテーマ設定

① 道の駅保田小学校を活用し、子育て世代をターゲットに、観光を通じて鋸南町の関係人口増に繋がるような交流イベントを企画したい。具体的には、保田小学校への宿泊者向けにイベントを企画し、そのメニューに就業体験や地元住民との交流、移住に関する情報発信を盛り込む。

② 町外居住者向けの情報発信において、町の魅力が伝わるよう発信の仕方を改善していく。

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 月１回のペースで町担当者とオンライン打合せ（５月、６月、９月、10月、11月、12月、１月）
- 現地視察を行い、観光施設・公共施設の見学やプロジェクト実施に向けた意見交換を実施（７月・２月）
- 地方応援隊の提案を踏まえ、保田小学校指定管理者を中心に、宿泊客向けの地域交流・体験イベントの実施を町内で企画。地域おこし協力隊や農業従事者、旅行業者等の町内人材にも意見や協力を募った。

今後の方針

- イベントの内容について、「地元住民との交流」を重要な要素とし、企画構想に携わっていく。
- 地方応援隊内の横のつながりを活かし、企画のモニター募集や合同意見交換会を検討する。

（背景）道の駅保田小学校

岐阜県　郡上市（１／２）

隊員情報：中本 涼太（国土政策局地域振興課）、刀井 乃の葉（農村振興局農村計画課）

郡上市の魅力ポイント

■面積　1030.8km²　■人口　約3.８万人　■指定地域　過疎・豪雪

■ 独自の文化・歴史

・郡上踊り（日本三大盆踊り、R4.11.30 ユネスコ無形文化遺産に登録！）、白鳥踊り（白山信仰）

・“小京都” 郡上八幡（重要伝統的建造物群保存地区）

・郡上八幡城（日本最古の木造再建城）

・古今伝授の里（和歌）

■ 四季を通して楽しめる自然

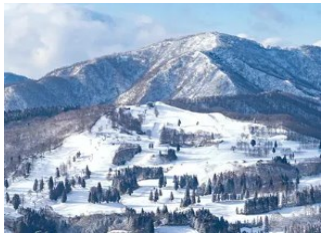
・長良川、吉田川を中心とした水の町（水とともに歩んできた暮らし）

・市全域の９割を占める山々（今も残る里山の風景）

・白銀の世界（西日本最大級のスノーリゾート）

■ 多様な食

・鮎　・鶏ちゃん　・ジビエ　・麺　・朴葉味噌　・肉桂玉



岐阜県　郡上市（２／２）

隊員情報：中本 涼太（国土政策局地域振興課）、刀井 乃の葉（農村振興局農村計画課）

郡上市の課題

■政策分野　関係人口の創出

■　関係人口の創出・拡大に向けた現状・課題は以下のとおり

現状　・東京近郊に住む郡上出身者やファン等を対象とした「東京郡上人会」の運営

・イベント型交流や情報発信を行う「郡上藩江戸蔵屋敷」の運営

・関東を中心に移住フェア等のイベントに参加し、移住の呼び掛け

課題　・関係人口創出・拡大に向けて、現行の取組の効果を精査できていない。

・大阪圏、名古屋圏などの東京圏以外に住む郡上市出身者のつながりを創出できていない。

・関係人口等の外部人材の活用について、地域のニーズを十分把握できていない。

応援隊の活動報告

これまでの活動　・１～２ヶ月に一度のオンラインor対面での打合せ

・８月に現地訪問による意見交換と市内の視察

・９月に中池袋公園（豊島区）で開催の「白鳥おどりin池袋」を視察 【WACCA池袋主催】

活動成果　・関係人口の創出・拡大につながる国の施策等や、市の他の施策に活用できる国の施策の紹介

・郡上おどりの保存活用に向けた意見交換及び施策提案

今後の活動方針　・引き続き、関係人口の創出・拡大につながる国の施策等の情報提供・意見交換

・郡上市のR7年度の都市部人材とのつながりづくりに関する事業への支援の実施

山口県　長門市（１／２）

隊員情報：戸田 絵美（国土政策局離島振興課）、川橋 美里（国土政策局総合計画課）、伊藤 愛真（畜産局畜産振興課）

長門市の魅力ポイント　■面積　357.31 km² ■人口　約3.0万人 ■指定地域　振興山村、特定農山村、過疎

■ 音信川（おとずれがわ）沿いに広がるオソト天国「長門湯本温泉」
→地域のシンボル「恩湯（おんとう）」や話題の「界 長門」に加え、山口県初となる川床テラスや飛び石、街中を照らす幻想的なライトアップ、レストランやカフェ等が続々開業。

■ 濃厚水素の美肌名湯と外湯文化が作り出す独特な街並み「俵山温泉」
→湧出量の少ない良質な源泉を維持するために、俵山温泉の旅館にはほとんど内湯がない。江戸時代から続く老舗旅館や木造旅館が軒を連ねる温泉街を散策しながら共同外湯温泉へ。

（出典）https://smout.jp/plans/17293

■ アメリカCNN「日本の最も美しい場所31選」に選ばれた「元乃隅神社」
→海岸から鳥居123基が100m以上にわたって並ぶ姿が印象的。日本一入れにくい！と話題を集める「大鳥居の賽銭箱」も楽しみの１つ。

■ 人口１万人あたりの店舗数は日本トップクラス！「長門やきとり」
→長門市のやきとりは長ねぎではなく玉ねぎが使われ、ちぎったキャベツと一緒に提供される。卓上にはガーリックパウダーが置かれている店が多く、一味や七味唐辛子と合わせてお好みで付けながら食べるという特徴もある。

（出典）https://oidemase-Yamaguchi.jp/nishinokunikara/materials/805

山口県　長門市（２／２）

隊員情報：戸田 絵美（国土政策局離島振興課）、川橋 美里（国土政策局総合計画課）、伊藤 愛真（畜産局畜産振興課）

長門市の課題

■政策分野　観光・畜産振興

■ 「観光客数」や「観光消費額」は伸びているものの、「延べ宿泊者数」は減少傾向にあり、「外国人延べ宿泊者数」の伸びも大きくない。「来訪者満足度」や「リピーター率」も低い状況となっている。
→ 「宿泊地魅力の活用不足や滞在時間延伸のためのコンテンツ提供が不十分である」ことや「旅行者ニーズへの対応不足や旅行者の期待を上回るようなサービス提供に至っていない」ことが要因として考えられる。

■ 「農家の高齢化」や「担い手不足」等により「飼養戸数」が減少しており、「飼料・資材価格の高止まり」や「子牛価格の下落」等により経営環境が厳しい状況になっていることから、長門市の基幹産業である畜産業がかつてのような活力を失いつつある。

応援隊の活動報告

<u>これまでの活動</u>

■ 令和６年６～７月：オンライン打合せ（顔合せ、市より市の概況、畜産業・観光業の様々な課題の説明）
■ ８月：オンライン打合せ（観光拠点整備、土地の造成基本計画の策定等に活用できる補助金・交付金制度の紹介（宿題返し））
■ ９月：現地視察（市長との意見交換、現況把握）
■ 10月：オンライン打合せ（現地視察の振り返り、地方応援隊で取り組む課題の設定、JAと行政の連携事例、和牛生産における話題提供（宿題返し））
■ 11～12月：オンライン打合せ（新規体験プラン造成についての意見交換、類似事例の紹介、視察報告）
■ １～２月：オンライン打合せ（「農村漁村」経済・生活環境創生PF等の紹介、新規体験プラン造成に向けてのアイディア出し、今後のスケジュール確認）

<u>現在の進捗と今後の方針</u>

■ 観光分野については、長門市の名物である「長門やきとり」等を活かした観光滞在日数の長期化、高付加価値化に向けた仕掛けづくり、畜産分野については、肉用鶏と肉用牛を地域内一貫生産する畜産団地の整備に向けた伴走支援、また観光分野と畜産分野で連携した体験プラン等の造成を行っていくこととなった。今後は月１回程度のオンラインでの打合せを継続し、情報収集のうえ適宜アドバイス等を行う。

高知県　安田町（１／２）

隊員情報：坂本　祐麻（国土政策局総務課）、久保塚　愛美（農村振興局農村交流課）

安田町の魅力ポイント

■面積　52.36km²　■人口　約2,200人　■指定地域　過疎

■ 高知県東部に位置し、海・川・森の自然がとっても豊か

海を眺めたり、川で遊んだり。安田川沿いは紅葉もとてもきれいです。

■ 観光施設もたくさん、見どころいっぱい！

・大心劇場

・清流キャンプ場

・唐浜休憩所　　等

■ 特産品は鮎と日本酒

■ 清流育ちの安田川の鮎は、良質のコケをえさとし、全国の鮎を食べ比べる「清流めぐり利き鮎会」で２度もグランプリを受賞。

また、安田町には土佐鶴酒造と南酒造という２つの酒蔵があります。

←唐浜休憩所

↑安田川アユおどる清流キャンプ場

↑大心劇場

↑味工房じねんで食べた鮎の塩焼き定食

高知県　安田町（２／２）

隊員情報：坂本　祐麻（国土政策局総務課）、久保塚　愛美（農村振興局農村交流課）

安田町の課題

■政策分野　中山間地域対策

■阿南安芸自動車道（高規格道路・奈半利～安芸間）の事業化（安田～安芸間）に併せた、周辺農地や県道・町道の一体的整備

県道の付け替え、広域農道の整備。
⇒地方創生整備推進交付金（道整備交付金）、デジタル田園都市国家構想交付金の使用を検討

■中山間地域での担い手不足、耕作放棄地の増加

⇒① １件の農家が栽培する固有品種（ゆず）を地域ブランドにすることを検討。
地域全域での栽培に向けた栽培方法の確立が課題。町で助成できないか。
②安田町中山地区には将来ビジョンがないことが課題。
今年度、地域全体で課題を共有し、地域で取り組むべき将来ビジョンを作成中（３ヶ年）。

■町内観光施設等の活性化

⇒キャンプ場、日本遺産（周辺４町村と広域認定）関連文化財の観光活用を検討。

応援隊の活動報告

これまでの活動

- これまで２度にわたり、安田町を訪問。町長、副町長、関係課に加え、地元の有識者と意見交換を行った。
- 国の関係支援制度等について助言。今年度から「元気な地域形成支援事業（農水省）」を活用。

今後の展望

- 今後はWebミーティングを通じ、上記事業や将来ビジョンなどの中期計画の申請をサポート。
- その他課題についても、随時ヒアリングを実施し、国の関係支援制度について助言。

熊本県　産山村（１／２）

隊員情報：植木港介（国政局総務課）、廣部佑哉（国政局総合計画課）、上山翔平（大臣官房政策課）

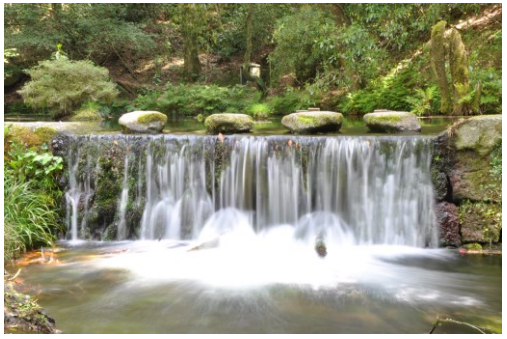
産山村の魅力ポイント

■面積　60.80 km² ■人口　1372人(R6.10.17) ■指定地域　特定農山村・山村・過疎

○九州の中央部、山に囲まれた草原の農山村

阿蘇山、九重火山群および祖母山に囲まれ、雄大な草原が広がっている。

絶滅危惧種の村花ヒゴタイ



村の水道にも使われる池山水源

阿蘇、九重、祖母を望む一望三山の台

○草原と湧水を生かした産業が盛ん

草原に放牧して育てた「あか牛」をはじめ畜産業が盛ん。
扇状に広がる土地を開墾し、山吹水源から引いた水で育てる「扇田」を
はじめとする稲作や、観光牧場、温泉などの観光資源も。

あか牛とヤマメ・ニジマス

湧水で育てる扇田

リニューアルしたばかりの観光牧場

熊本県　産山村（２／２）

隊員情報：植木港介（国政局総務課）、廣部佑哉（国政局総合計画課）、上山翔平（大臣官房政策課）

産山村の課題

■政策分野　公共施設

○公民館等の遊休施設の活用

（現状）

・体育館や宿泊設備等を備えた公民館があるが、築年数が経っており、最新の耐震基準を満たしていない。

・活用の方法が定まっておらず、改修が後手に回っている。

→地域のコミュニティ維持に活用するとともに、村の近くを通る中九州横断道路が近日開通予定であることから、村外からの利用者も呼び込みたい。

（対応すべきこと）

・公民館等遊休施設をどのようなコンセプトで使用していくか検討。

→コンセプトを基に、耐震設計や予算規模を決定していく必要がある。

応援隊の活動報告

○情報提供

・公共施設の改修について、各地の自治体の事例を紹介するとともに、活用できそうな制度・補助金について情報提供。

○遊休施設の活用コンセプト策定

・ターゲットの選定、用途の絞り込み等についてヒアリング。山村留学の宿舎やコワーキングスペース設置を想定、等…

＞＞今後の方針

・来年度作成される公共施設の総合管理計画に、公民館の活用方針を盛り込みたい。

→引続きコンセプト策定を支援（事例の情報提供等）。